

**ISO 14004（環境マネジメントシステム—原則、システム及び支援技法の一般指針）  
の改正  
スコープ、プロセス、スケジュール及び変更点に関する情報文書  
2014年7月更新版**

この文書は、現在進められている ISO 14004 改正のスコープ（範囲）、プロセス、スケジュール及び現時点で出てきている変更点に関する情報を提供するものである。この文書は、改正の進捗に従って更新されていく。

**改正のスコープは？**

ISO 14004 の改正は、2011 年終わりに国家標準化機関（NSB）の投票によって承認された。改正作業は、指針が開発できる段階にまで ISO 14001 の改正作業が進むのを待たため、ISO 14001 の改正開始の半年後に開始された。

改正は、次の事項に従うものである。

- 次の事項に特に重点を置き、ISO 14004 のタイトル及びスコープをより良く反映する内容とする。
  - a. ユーザーのニーズ
  - b. 組織が、どのように環境マネジメントシステム（EMS）を維持し改善し得るか。
  - c. 組織の全体的なマネジメントシステムの中における環境マネジメント要求事項の実施。
- ISO 14001 の改正版のテキストを反映する。
- ISO/TC 207/SC 1 の“Future Challenges for EMS（EMSの将来の課題）”調査グループからの課題を包含する。

**現在、改正はどの段階にあるのか？**

ISO 14004 の改正版の委員会原案（CD）が発行され、2014年7月2日～9月1日の2か月間の期間で NSB へのコメント照会にかけている。次回の会議は、2014年10月に南アフリカのプレトリアで開催される予定であり、CD に対するコメントのレビュー及びテキストの改正を行い、国際規格原案（DIS）の発行を目指す。国際規格（IS）は、2015年後半に発行される予定である。

改正による変更点は、改正のスコープ（上記参照）及び ISO 14001 の改正（ISO 14001 の改正に関する情報文書を参照。）による直接的な結果、並びに2013年に ISO/TC 207/SC 1 で実施された ISO 14001 継続的改善調査（本調査の最終レポートは、2014年2月1日に発行済み。）の結果によるものである。

**改正によってどのような変更が出てきているのか？**

ISO 14004 が ISO 14001 の適用以上の EMS の一般的な指針を提供するものであることから、改正される ISO 14001 及び ISO 14004 は、整合した対の規格として構成される。したがって、ISO/CD 14004 において発生している変更点は、ISO 14001 の改正に関連した開発に加えて、組織がどのように環境マネジメントシステム（EMS）を維持し改善するか、及び組織の全体のマネジメントシステムの中において環境マネジメント要求事項を実施するかということに特に関連した改正のスコープを反映したものである。

ISO 14004 の改正作業において、エキスパートは、特に次の事項に重点を置いて考慮している。

- 組織の状況
- 環境マネジメント及びリスクアセスメント
- リーダーシップを通じた環境マネジメントの推進
- 組織の戦略的計画策定プロセスへの環境マネジメントの統合
- “汚染の予防” から “環境保護” への転換による、スコープの拡大
- 継続的改善に関連する環境パフォーマンスの重視の増大
- ライフサイクル思考の役割
- 外部及び内部のコミュニケーションの強調
- 文書化した情報、並びに手順とプロセスとの違い

### 今後更に変更があるのか？

CD における変更に関しては、次に留意することが重要である。

- CD は、改正において発生している主要なコンセプトをうまく示しているが、現在のテキストは今後変わる可能性がある。
- 文書は、現在コメント照会のための CD 段階であり、エキスパート及び NSB はコメントを提出するよう推奨されている<sup>1</sup>。

### 改正の責任者は誰か？

この改正は、各 NSB 及びリエゾン機関から任命されたエキスパートによって行われている。エキスパートは、ISO 14004 の改正テキストに合意するために、コンセンサスによって作業を進めている。作業グループ (WG6 <sup>2</sup>) の主査は Per Arne Syrrist (ノルウェー規格協会) であり、幹事は、Knut Jonassen (ノルウェー規格協会) が務めている。

### 改正作業はいつ終了するのか？

予定スケジュール及び活動は以下の通りである。

時間枠	2012		2013		2014		2015	
構想と初期原案の開発 – 作業原案 (WD)								
委員会原案 (CD) 及び合意								
国際規格原案 (DIS) – 終了間近								
規格の発行								
その他の活動								
コミュニケーション計画								
コミュニケーション支援の策定								
発行の支援								

<sup>1</sup> JSA 注：CD へのコメント照会は、2014 年 7 月 2 日～9 月 1 日までの期間で実施されています。

<sup>2</sup> JSA 注：WG6 は、ISO 14004 の改正を行うために TC 207/SC 1 の下に設置されたグループです。

どこでその他の情報を見られるのか？

CD の内容については、自国の NSB にお問い合わせください。

#### <リンク>

- ISO/TC 207/SC 1 ウェブサイト：[www.iso.org/iso/tc207sc1home](http://www.iso.org/iso/tc207sc1home)
- ISO/TC207/SC1 継続的改善サーベイ  
[http://www.iso.org/iso/home/standards\\_development/list\\_of\\_iso\\_technical\\_committees/tc207sc1home/iso14001-continual-improvement-survey-2013.htm](http://www.iso.org/iso/home/standards_development/list_of_iso_technical_committees/tc207sc1home/iso14001-continual-improvement-survey-2013.htm)
- ISO/IEC 専門業務用指針、第 1 部 統合版 ISO 補足指針－ISO 固有の手順、第 5 版、2014 年 附属書 SL<sup>3</sup>：  
<http://isotc.iso.org/livelink/livelink?func=ll&objId=4230452&objAction=browse&sort=subtype>
- ISO/TC 207/SC 1 EMS future challenges レポート：  
<http://isotc.iso.org/livelink/livelink?func=ll&objId=9726423&objAction=browse&viewType=1>
- ISO 国家標準化機関 (NSB)：  
[http://www.iso.org/iso/home/about/iso\\_members.htm](http://www.iso.org/iso/home/about/iso_members.htm)

#### <問合せ先>

Knut Jonassen (ISO/TC 207/SC 1/WG 6 幹事) - [kjo@standard.no](mailto:kjo@standard.no)

※本文書に関するお問い合わせにつきましては、以下の連絡先までお願いいたします。

一般財団法人日本規格協会 国際標準化ユニット 国際規格開発グループ  
マネジメント規格チーム

[E-mail: cstd@jisa.or.jp](mailto:cstd@jisa.or.jp)

<sup>3</sup> JSA 注：ISO/IEC 専門業務用指針の対訳版は、JSA の以下の HP で閲覧できます。  
<http://www.jisa.or.jp/itn/shiryo-1.asp#shiryou2>